

コロナ禍でのオンライン化を交流のチャンスに 広大・島大の留学生が松江市の小学生とオンライン交流

JICA 中国で受入をしている開発途上国の研修員が島根県松江市の小学校のオンライン授業に参加し、国際理解教育の一環として、小学生と JICA 研修員が互いの国・地域を紹介し合い、相互理解の促進を図ります。通常、JICA 研修員の学校訪問はコロナ前の対面の場合は、地理的な制約から広島県内での実施がほとんどでした。コロナ禍で進んだオンライン化により、広島大学で学ぶ研修員と島根県松江市の学校との交流が可能となりました。また同じ地域にいながら日ごろ交流が多いとは言えない、島根大学の研修員もオンラインで繋ぎ、小学生と交流します。国際交流の現場として、取材をご検討ください。

■日 時： 2021年12月17日（金）10：50～11：35

■場 所： 松江市立義務教育学校八束学園
 （島根県松江市八束町波入 1975 電話 0852-76-2442）

■参加研修員： JICA 研修員 2名（オンライン参加）

アフガニスタン、ペルーの2カ国

アフガニスタンの研修員は島根県内の自宅から、ペルーの研修員はひろしま国際センターから参加します。

※ 長期研修員として JICA が受け入れ、広島大学、島根大学の大学院で学んでいる学生です。

■参加小学生： 6 学年 38 名

■主な実施内容（予定）

10：50～ オンライン授業開始

- ①研修員の自国紹介
- ②生徒による松江・八束の紹介
- ③感想等を発表

11：35 終了

■実施担当者・取材連絡先

学校及び研修員との事前調整は、（公財）ひろしま国際センター研修部が行います。

※ 学校から取材許可を受ける必要があるため、取材予定の方は事前にひろしま国際センターまでお知らせください。

担当者：研修課 上田(うえだ)／電話 082-421-5900 メール hicc40@hiroshima-ic.or.jp

【本事業担当者】

JICA 中国 市民参加協力課 担当：川崎
 TEL: 082-421-6305 FAX: 082-420-8082
 E-mail: Kawasaki.Hiromi@jica.go.jp

地域から世界へ、世界から地域へ
 元気をつなぐ JICA 中国

JICA 中国ウェブサイト

